

Sky Rising in Yusuvara (第 5 部)

お別れの挨拶 (Bittersweet Farewell)

梶原学園 ALT : パトリック・ルイス



これが最後のニュースレターとなるので、まずは梶原で過ごした私の時間を特別なものにしてくださった皆さまに、感謝の意を表したいと思います。

梶原町に着任した最初の日から、私はいつも温かく迎え入れられ、ここで生活していく中で、優しさと寛大さを身をもって体験してきました。

梶原学園の同僚の皆さん、そして私を支え、様々な活動に誘ってくださった地域の皆さん、そして少しでも私から英語を学んでくれたであろう生徒の皆さん。私のために力を貸してくださった皆さんに、心から感謝申し上げます。

初めて日本に来た時、私は大学を卒業したばかりで、いくつかの簡単な日本語しか知りませんでした。しかし、控えめに言っても、梶原へ来てからの数か月で私の人生は劇的に変わりました。それほど、ここでの毎日は新しく刺激的な機会をもたらしてくれました。

新しい地域、新しい言語、そして新しい生活様式に適応するという挑戦の結果、私はより強く柔軟性のある人間へと成長しました。とはいえ、梶原での生活が私をどれほど変えたのか完全に分かるのは、アメリカに帰国したずっと後になるかもしれません。

ALTとして過ごした1年間は素晴らしい経験でした。振り返ってみると、文化交流が最も楽しい時間でした。私がアメリカでの生活について話す時、特にそれが日本と大きく異なる場合、喜んで聞いてくれているように見えました。

私も同様に、日本の文化についてもっと知ることに夢中になりました。仕事の経験、梶原での生活、そして日本中を旅した経験から、文化交流は異なる国の人々を互いに結びつけることを可能にすることだと知りました。そのようにして、私が日本人や他の国からのALTと友達にもなりました。出身州が異なるアメリカ人ALT同士でも、文化の違いを通して繋がりを築くことが出来ました。帰国後、ここで学んだ人生の経験を本当に恋しく感じることでしょう。

私の人生的一幕が終わりに近づいていますが、この特別な場所で過ごした時間を心から楽しめたのは、梶原に住み、働く皆さんのおかげだと、改めて申し上げたいと思います。これまで出会ったすべての人々、仕事上で築いてきた人とのつながりに感謝しています。これらがなければ、梶原での私の人生は今とは違ったものになっていたでしょう。本当はもっと長く滞在したかったのですが、人生には誰にも予期せぬ出来事がつきものです。

旅立つ私がただ一つ、生徒たちに望むのは、私のことよりも、私が教えた英語を覚えていてくれることです。そして、彼らが英語力を伸ばし続ければ、実りある機会をつかみ、世界を探究する力を得られるはずです。短い期間でしたが、良い影響を残せたことを願っています。ありがとうございました。どうぞお元気で。

(日本語訳：吉富 文)



梶原での時間は、まるで桜があつという間に咲いて散ってしまうように、すぐに過ぎてしまいました